

令和5年度
兵庫県中播磨県民センター重要施策

令和5年2月
兵庫県中播磨県民センター

目次

中播磨県民センター 重要施策体系.....	5
-----------------------	---

I 多様な人が行き交う「交流」中播磨..... 7

1 大阪・関西万博、兵庫デスティネーションキャンペーンを契機とした交流の拡大..	7
(1) 岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験.....	7
(2) 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト.....	7
(3) 中はりま食文化の発信.....	8
(4) 播磨のさかなとブルーツーリズム支援事業.....	9
(5) 見つける私の旅 中播磨魅力発信事業.....	10
(6) 中播磨の山城魅力発信事業.....	10
(7) DC・万博推進事業.....	10
(8) 食と農で結ぶ夢街道づくり事業.....	10
2 播磨臨海地域の中心を担う姫路港の活性化.....	11
(1) 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル.....	11
(2) カーボンニュートラルポートの形成.....	11
(3) 背後圏企業へのポートセールス活動の展開.....	11
(4) クルーズ船誘致活動強化事業.....	11
(5) 姫路港ふれあいフェスティバル事業.....	12
(6) 姫路港クルーズ事業.....	12
(7) 岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験（再掲）.....	12
3 地方回帰の流れを捉えた移住・定住プロジェクトの展開.....	12
(1) 県民センター横断による地域活性化等の支援.....	12
(2) 中はりまの企業PR大作戦（UJIターン対策）.....	12

4	交流を支える交通基盤の整備	13
(1)	日常生活や地域を支える道路整備	13
(2)	播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成	14
(3)	姫路駅周辺道路等の整備推進	15
(4)	播磨臨海地域道路の整備促進	15
(5)	J R姫新線・播但線鉄道交通活性化推進事業	16
Ⅱ 新たな力が生まれ続ける「活力」中播磨		16
1	公民連携で取り組む中播磨地域の活性化	16
(1)	新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携事業	16
(2)	中はりま産業SDGs PR事業	16
2	ものづくり力の強化と新たな挑戦への支援	17
(1)	中はりま高校生等のための起業セミナー	17
(2)	産学官連携による「中はりま産業力」強化	17
(3)	ものづくりを支える人材確保支援	17
(4)	中はりまの企業PR大作戦（U J I ターン対策）（再掲）	17
(5)	新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携事業（再掲）	17
(6)	中はりま産業SDGs PR事業（再掲）	17
(7)	カーボンニュートラルポートの形成（再掲）	17
3	多様な働き方の推進	18
(1)	女性活躍促進企業セミナー	18
(2)	中はりま農的くらし定着支援事業	18
(3)	授産品の販路拡大による障害者の社会参加促進	18
4	持続可能な農林水産業の推進	19
(1)	中はりま農業パワーアップ作戦	19
(2)	農業生産基盤の整備	20
(3)	水産資源を守り育てる増殖場の整備	21

Ⅲ ステキなご近所さんで支え合う「つながり」中播磨..... 21

1 健康で安心できる暮らしづくりの推進..... 21

- (1) 小児救急医療・適切な受診行動の促進..... 21
- (2) 地域包括ケアシステムの構築支援..... 21
- (3) 地域を支える看護人材の確保..... 21
- (4) 災害時における医療提供に関する情報伝達訓練・研修事業..... 21

2 人と人がつながり支え合う地域づくりの推進..... 22

- (1) 中播磨地域づくり活動応援事業..... 22
- (2) 中播磨フードドライブの実施..... 22
- (3) 地域づくり研修会の開催..... 22
- (4) 離島地域における県立高等学校跡地活用の検討..... 22

Ⅳ 次代に受け継ぐ「ふるさと」中播磨..... 23

1 安全安心な暮らしの推進..... 23

- (1) 災害に強い社会基盤整備の推進..... 23
- (2) 老朽化対策の推進..... 25
- (3) 「ひょうご安全の日」中播磨地域のつどいの開催..... 25
- (4) 「ストップ・ザ・交通事故！県民運動」啓発活動強化事業..... 25
- (5) 次世代（若者）の消費生活力向上支援事業..... 26

2 シビックプライドの醸成..... 26

- (1) 小学生への社会基盤整備PR事業..... 26
- (2) 中播磨地域ビジョンの推進..... 26
- (3) 未来へつなぐ中はりまの農業水利の歴史事業..... 27
- (4) 青少年の健全育成活動の推進..... 27
- (5) 伝統文化を通じた青少年の文化力アップ..... 27

3 次代へつなぐ豊かな自然の維持・保全とゼロカーボン社会の実現.....	27
(1) 人と野生動物が共生できる地域創出事業.....	27
(2) 野生動物の被害対策の推進.....	28
(3) 持続可能な森林経営に向けた森づくり.....	28
(4) 環境学習の推進.....	28
(5) カーボンニュートラルポートの形成（再掲）.....	28
(6) 中播磨フードドライブの実施（再掲）.....	28

ひと 多様な地域に、個性が輝く中播磨

I 多様な人が行き交う

「交流」中播磨

1 大阪・関西万博、兵庫デスティネーションキャンペーンを契機とした交流の拡大

- (1)岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験【新規】
- (2)日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト【拡充】
- (3)中はりま食文化の発信【拡充】
- (4)播磨のさかなとブルーーツリズム支援事業
- (5)見つける私の旅 中播磨魅力発信事業【新規】
- (6)中播磨の山城魅力発信事業【拡充】
- (7)DC・万博推進事業【新規】
- (8)食と農で結ぶ夢街道づくり事業

2 播磨臨海地域の中心を担う姫路港の活性化

- (1)姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル
- (2)カーボンニュートラルポートの形成
- (3)背後圏企業へのポートセールス活動の展開
- (4)クルーズ船誘致活動強化事業
- (5)姫路港ふれあいフェスティバル事業
- (6)姫路港クルーズ事業
- (7)岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験【新規】（再掲）

3 地方回帰の流れを捉えた移住・定住プロジェクトの展開

- (1)県民センター横断による地域活性化等の支援【新規】
- (2)中はりまの企業PR大作戦（UJIターン対策）

4 交流を支える交通基盤の整備

- (1)日常生活や地域を支える道路整備
- (2)播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成
- (3)姫路駅周辺道路等の整備推進
- (4)播磨臨海地域道路の整備促進
- (5)JR姫新線・播但線鉄道交通活性化推進事業

II 新たな力が生まれ続ける

「活力」中播磨

1 公民連携で取り組む地域の活性化

- (1)新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携事業【新規】
- (2)中はりま産業SDGs PR事業【新規】

2 ものづくり力の強化と新たな挑戦への支援

- (1)中はりま高校生等のための起業セミナー
- (2)産学官連携による「中はりま産業力」強化
- (3)ものづくりを支える人材確保支援
- (4)中はりまの企業PR大作戦（UJIターン対策）（再掲）
- (5)新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携事業【新規】（再掲）
- (6)中はりま産業SDGs PR事業【新規】（再掲）
- (7)カーボンニュートラルポートの形成（再掲）

3 多様な働き方の推進

- (1)女性活躍促進企業セミナー
- (2)中はりま農的くらし定着支援事業
- (3)授産品の販路拡大による障害者の社会参加促進【拡充】

4 持続可能な農林水産業の推進

- (1)中はりま農業パワーアップ作戦【拡充】
- (2)農業生産基盤の整備
- (3)水産資源を守り育てる増殖場の整備



I 多様な人が行き交う「交流」中播磨

1 大阪・関西万博、兵庫デスティネーションキャンペーンを契機とした交流の拡大

大阪・関西万博や兵庫デスティネーションキャンペーンの開催を契機に、中播磨地域への交流人口の拡大を図るため、地域資源を磨き上げる「ひょうごフィールドパビリオン」の展開支援や、情報発信、機運醸成のための取組を推進する。

(1) 【新規】岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験 2,000千円 (地域躍動)

姫路港リニューアルを契機としたツーリズム機能の強化を図るため、姫路港⇄宮浦港(直島)の新規航路を開設するきっかけづくりとして、犬島(岡山県)、直島・豊島(香川県)を巡る周遊クルーズの実証実験を、兵庫デスティネーションキャンペーン開催に合わせ実施する。あわせて2025年の大阪・関西万博及び瀬戸内国際芸術祭の観光客取り込みを狙う。

既存の定期航路に姫路港⇄宮浦港(直島)の新規航路を加えることにより、海上交通網の充実化、3県の港の利用促進、さらには瀬戸内海クルーズの就航を目指す。

◆クルーズルート例



(2) 【拡充】日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進プロジェクト

13,500千円 (地域躍動)

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の魅力発信やブランド化を推進するとともに、ゆかりのあるフランスとの交流や、「ひょうごサイクリングモデルルート」の活用、「銀の馬車道」商品の販売支援等により、地域内外からの誘客を促進する。

① 「銀の馬車道」プロジェクトの推進

ア (新規) 巡回展「日本遺産 銀の馬車道 鉱石の道」の開催

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の歴史や沿線地域の魅力を紹介する特別展示を、県立兵庫津ミュージアムひょうごはじまり館他県内2箇所の施設において実施する。

イ (拡充) 銀の馬車道ブランドの推進

銀鉱石をイメージした白いカボチャを「銀馬車かぼちゃ」としてブランド化し、沿線地域の飲食店でのメニュー提供やスタンプラリー等のイベントを行うほか、「銀の馬車道」関連商品の開発支援や、ECサイトの活用による販売支援を行い、地域イメージの向上と来訪者の誘致を推進する。

ウ 「銀の馬車道」魅力発信

沿線を花でつなぐ活動の支援や、沿線の豊かな自然や文化、歴史等をテーマにした川柳コンテストなどを実施する。

エ フランスとの相互交流

インバウンド再開に備え、「銀の馬車道」とゆかりの深いフランス等をターゲットに、「銀の馬車道」の魅力をもPRする。



【銀馬車かぼちゃとハヤブ】

② 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」を活かした取組の推進

ア 高校生による日本遺産魅力発見ワークショップ

高校生ならではのアイデアを活かし、地元への誇りや愛着を深めるため、沿線地域の高校生によるワークショップを開催する。

イ 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」サイクリング事業

自然の中での体験型観光が注目されている中、「ひょうごサイクリングモデルルート」の「銀の馬車道・鉱石の道周遊ルート」を活用し、JR西日本と連携し、沿線が育んできた歴史的背景や文化を発信・体感するサイクルトレインの運行など、「銀の馬車道・鉱石の道」沿線の魅力スポットを巡るイベントを開催する。



【サイクルトレイン】

(3) 【拡充】中はりま食文化の発信 5,300千円(うち地域躍動4,500千円)

酒類の地理的表示(GI)の指定を受けた「はりま」の酒をはじめ、姫路おでんや菓子、海の幸など姫路・中播磨の食文化の魅力を発信する。

① (拡充) 海外での中はりま食文化PR

地域資源である日本酒の海外販路開拓・拡大及び海外の嗜好に合わせた味づくりに取り組むため、フランス等において、GIはりまの酒の試飲・商談、セミナー等のプロモーションを実施する。あわせて、バイヤー向け展示会等で、中播磨の多彩な食文化や食材の魅力についてPRを行い、大阪・関西万博来場者の中播磨地域への誘客促進を図る。

② 姫路食博2023の開催支援

中播磨を中心とした兵庫の食の魅力を全国に発信することで、交流人口の拡大等を促進し、地域経済の活性化を図るため、「姫路食博2023」の開催を支援する。



【フランスでのほりまの酒PR】



【姫路食博】

(4) 播磨のさかなとブルーツーリズム支援事業 6,500千円（地域躍動）

当地域の主要水産業であり、兵庫県内では、ほぼ中・西播磨地域でのみ行われている二枚貝養殖業の持続可能な生産体制の確立を目的とし、マガキやアサリ等の養殖生産における新技術の導入を推進する。また、2025年に予定されている大阪・関西万博のひょうごフィールドパビリオンとしての取組を踏まえ、漁業に親しむ「ブルーツーリズム」の取組を推進し、水産業及び漁村地域の魅力を発信することにより、漁村来訪者と地域水産物のファンの増加を図る。

- ① 令和5年9月の漁業権切替による養殖漁場拡大に伴い、1粒ずつ大きく育つシングルシード等の新技術を用いた養殖方式の導入、アサリ等の新たな種苗生産や中間育成方法の導入等の取組を支援し、漁家の経営安定と所得向上を推進する。
- ② ひょうごフィールドパビリオンへのエントリーを踏まえ、都市住民等を対象とした漁業見学船ツアー、漁村地域における食事体験や島内散策、漁業者との交流等「ブルーツーリズム」の取組を支援し、資源管理型漁業の推進や海洋保全活動等、持続可能な漁業が営まれていることを広くPRするとともに、漁村来訪者と地域水産物のファン及びリピーターを確保する。



【育成中のシングルシードマガキ】



【底びき網漁業見学ツアー（家島周辺海域）】

(5) 【新規】 見つける私の旅 中播磨魅力発信事業 1,300千円（地域躍動）

中播磨地域の観光スポットを紹介する「中播磨ツーリズムガイドマップ」を活用し、さらなる誘客を図るため、ガイドマップに掲載しているスポットのほか、令和5年度に実施される兵庫デスティネーションキャンペーンの観光スポット等を立寄り地点にしたデジタルスタンプラリー実施し、地域全体への周遊を図る。

(6) 【拡充】 中播磨の山城魅力発信事業 2,500千円（地域躍動）

① （新規） 特別版 お城 EXPO in 姫路への出展

姫路城の世界遺産登録30周年を記念して、令和5年度は姫路にて開催される、日本最大級のお城の祭典「特別版 お城 EXPO in 姫路」へ出展する。

② 山城アプリの作成

往時の山城を高精細3Dで復元したCGを製作し、その復元CGをスマートフォンやタブレットで楽しむことのできるアプリ等を製作する。

また、アプリには現地の指定ポイントで利用者がスマートフォン等を示すと画面に山城についての解説文が表示される機能を搭載し、地域への誘客を促進する。



【スマホアプリ「山城へGO」】

(7) 【新規】 DC・万博推進事業（「中播磨地域づくり活動応援事業」の新規枠として設定）

大阪・関西万博の開催に合わせて、ひょうごフィールドパビリオンの展開を推進するため、地域団体等が実施する大阪・関西万博に向けた機運醸成やひょうごフィールドパビリオン、SDGsに関する取組等に対して支援する。

(8) 食と農で結ぶ夢街道づくり 850千円（地域躍動）

夢前川流域の自然豊かな地域性を生かしながら、地域関係者が一体となって、観光客など県内外からの来訪者を夢街道沿線（県道67号線）へ誘導し、交流人口の増大につなげることにより、農産物とその加工品の生産振興、さらには地域の活性化を図る。

今後とも「兵庫デスティネーションキャンペーン」、「大阪・関西万博」を視野に入れた取組を行う等、食と農を核とした各種の積極的な取組により夢街道沿線に観光客のさらなる集客等を図り、関係人口の拡大と地域の活性化を図る。

① 農地等を活用した交流促進

ア 観光農業、農産物等加工体験、オーナー制度の導入等、都市部の消費者等が繰り返し地域を訪れる取組の実施

イ 農業・加工体験を通じ、都市部等の消費者と夢前の農業者等を繋ぐ取組の実施

② 夢前テロワール普及宣伝事業

夢前町の風土（土壌、気候、地形、水など）から生まれた農畜産物、それらを活用した郷土食や日本酒等を当地で楽しむ「夢前テロワール」の取組を支援する。



【地域住民や地元高校と連携した菜の花の田んぼアート】



【関係人口の拡大を目指し開催したスカイランタン】

2 播磨臨海地域の中心を担う姫路港の活性化

姫路港が中心を担う播磨臨海地域をカーボンニュートラルに向けた拠点とするための取組を推進する。また、姫路港を起点とした周遊クルーズの実施やクルーズ船誘致等の賑わいづくりにより、姫路港のさらなる活性化を図る。

(1) 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル

旅客船利用者の利便性・快適性の向上を図るため、令和6年度の供用を目指して、旅客ターミナル機能の集約や貨物と旅客の効率的な配置などの再編整備を行う。

(全体事業費 約40億円)

(2) カーボンニュートラルポートの形成

姫路港を中心とする播磨臨海地域は、ものづくり・エネルギー産業が集積し、エネルギー使用量等が全国屈指の規模であり、脱炭素化の取組みによる効果が高いエリアであることから、学識者、企業、行政等で構成する協議会において、「播磨臨海地域カーボンニュートラルポート形成計画」を策定し、脱炭素化に向けた取組みを推進する。

(3) 背後圏企業へのポートセールス活動の展開

姫路港背後圏の荷主企業等に対するポートセールス活動を行い、内航船へのモーダルシフトなど姫路港の利用を積極的に働きかける。

(4) クルーズ船誘致活動強化事業 1,000千円（地域躍動）

令和5年度は、姫路港に6隻のクルーズ船入港が予定されており、クルーズ船の受入にあたっては、感染拡大予防対策を講じた上で、入港するクルーズ客船の乗客、乗員に効果的なおもてなしを提供するなど、今後の再入港につながるよう効果的な歓迎行事を実施する。

(5) 姫路港ふれあいフェスティバル事業 3,400千円（地域躍動）

姫路港の重要性や海の魅力を発信し、身近な港としてPRするため、また、地域で活動を行っている様々な団体に活動発表の場を提供するため、姫路港飾万津臨港公園及び周辺にて、「姫路港ふれあいフェスティバル」を開催する。



【姫路港ふれあいフェスティバルでの船艇見学の様子】

(6) 姫路港クルーズ事業 840千円（地域躍動）

姫路港の重要性や海の魅力を発信し、身近な海としてPRするため姫路港を起点とするクルーズを実施し、姫路港の活性化を図り県民交流や賑わいづくりの促進に取り組む。

また、姫路港ふれあいフェスティバルと同時に開催することにより相乗効果を図る。

(7) 【新規】岡山県・香川県との周遊クルーズ実証実験（p. 7再掲）

3 地方回帰の流れを捉えた移住・定住プロジェクトの展開

自然豊かな地域や地元での暮らし・働き方を求めるU J I ターンなど、地方回帰の流れが生まれつつある中、移住・定住希望者への情報発信や、相談、暮らし支援等の環境整備により、中播磨地域への移住・定住を促進するための取組を推進する。

(1) 【新規】県民センター横断による地域活性化等の支援

中播磨県民センター各事務所（県民交流室・姫路農林水産振興事務所・姫路農業改良普及センター・姫路土木事務所）横断のチームを結成し、都市部から自然豊かな多様な「地域」が集う中播磨において、農作業体験会の開催など地域団体による地域の活性化につながる事業に対し、県民センターが一体となって支援を実施する。

(2) 中はりまの企業PR大作戦（U J I ターン対策） 3,000千円（地域躍動）

進学を機に県外に転出した若者等を対象に、地元企業への関心を高めてもらい、企業と人材のマッチングを図るため、ものづくり産業を中心に優れた地元企業の魅力をPRする。

① 理系大学・学部での中はりま企業出前セミナー

理工系人材のU J I ターン就職を促進するため、県外の理系大学・学部に出向き、中播磨地域や企業の魅力をPRするセミナー、企業説明会等を開催する。

② 理系大学生対象の中はりま企業研究・見学会

理工系人材のU J I ターン就職を促進するため、県内外の理系大学生を対象に、企業見学会等を開催する。

③ 留学生対象の中はりま企業研究・見学会

海外展開に関心の高い中播磨の企業への外国人材の就職を促進するため、県立大学グローバルビジネスコースの留学生等を対象に、企業見学会等を開催する。

4 交流を支える交通基盤の整備

暮らしや産業、観光など中播磨地域の元気を支える重要な交流基盤として、利便性・安全性を高める道路の整備や、鉄道の利用促進等を進めることで、さらなる交流を促進する。

(1) 日常生活や地域を支える道路整備

① 渋滞交差点の解消・緩和

「渋滞交差点解消プログラム」〔2019(H31)～23(R5)〕に基づき、交差点改良（右折レーン設置）等を行い、計画的かつ重点的に渋滞交差点の対策を進める。

《主な事業箇所》

路線名	交差点名	渋滞内容	種別
(一) 広畑青山線	京見橋西詰	広畑青山線南行き L=250m	2001(H13)～25(R7)
	八幡小前	市道八幡35号線東行き L=300m	
(主) 太子御津線	J R 網干駅前	太子御津線北行き L=250m	2011(H23)～25(R7)
(一) 田寺今在家線	棚田	田寺今在家線南行き L=350m	2017(H29)～27(R9)
(一) 大江島太子線	下太田	大江島太子線北行き L=350m	2019(H31)～25(R7)

② 駅へのアクセス道路の整備

鉄道駅へのアクセスの向上と利用者の安全性向上のため、バイパス道路及び歩道を整備することにより、駅周辺の交通環境を改善する。

《主な事業箇所》

路線名	延長	種別
(主) 太子御津線（姫路市網干区高田）	1.2km	立体交差（J R 網干駅） 2011(H23)～25(R7)
(一) 甘地福崎線（福崎町福田） 2期	0.3km	バイパス（J R 福崎駅） 2017(H29)～23(R5)

③ 歩行者・自転車の快適な通行空間の確保

ア 通学路等の安全対策の推進

「通学路安全対策5箇年計画」〔2019(H31)～23(R5)〕に基づく通学路や大津園児死傷事故(R元)を受け実施した緊急安全点検による園児移動経路の安全対策を推進する。

《主な事業箇所》

路線名	延長	種別
(一) 石倉玉田線（姫路市書写）	0.4km	歩道(W=2.5m) 2017(H29)～25(R7)
(主) 姫路神河線（姫路市夢前町山富）	0.8km	歩道(W=2.5m) 2015(H27)～23(R5)
(主) 西脇八千代市川線（市川町上瀬加）	1.2km	歩道(W=2.5m) 2013(H25)～23(R5)

※ 歩道の幅員(W)は、施設帯等を含む幅員

イ 自転車通行空間整備の推進

「自転車通行空間整備5箇年計画」〔2019(H31)～23(R5)〕に基づき、自転車レーンや路肩のカラー舗装等による視覚的分離により安全対策を計画的に推進し、安全で快適な自転車通行空間を確保する。

《主な事業箇所》

路線名	延長	種別
(一)和久今宿線(飾磨区山崎台～付城)	1.2km	自転車レーン 2018(H30)～25(R7)
(主)三木穴栗線(福崎町西治)	1.0km	路肩拡幅 2015(H27)～23(R5)

④ 地方部の道路整備の推進

地域間交流や生活の基盤となる道路の重点的な整備を進める。

《主な事業箇所》

路線名	延長	種別
(主)穴栗香寺線(姫路市安富町狭戸)	0.2 km	バイパス 2017(H29)～24(R6)

(2) 播磨の中心市街地(姫路市)の骨格道路網形成

姫路市流出入交通の集約・分散化を図るための骨格となる放射環状道路のうち、国道372号などの放射道路や県道広畑青山線のバイパスなどの環状道路の整備を推進する。

① 放射道路【総延長約63km】

路線名	延長	種別	位置
(国)372号[城北線](姫路市飾東町八重畑～山崎)	1.65km	2008(H20)～ 25(R7)	図-①
(都)国道線[姫路東工区](姫路市東郷町～神屋町)	0.96km	2014(H26)～ 25(R7)	図-②
(国)312号[砥堀][大日線](姫路市砥堀)	0.32km	2016(H28)～28(R10)	図-③

② 環状道路【総延長約52km】

《外環状道路》

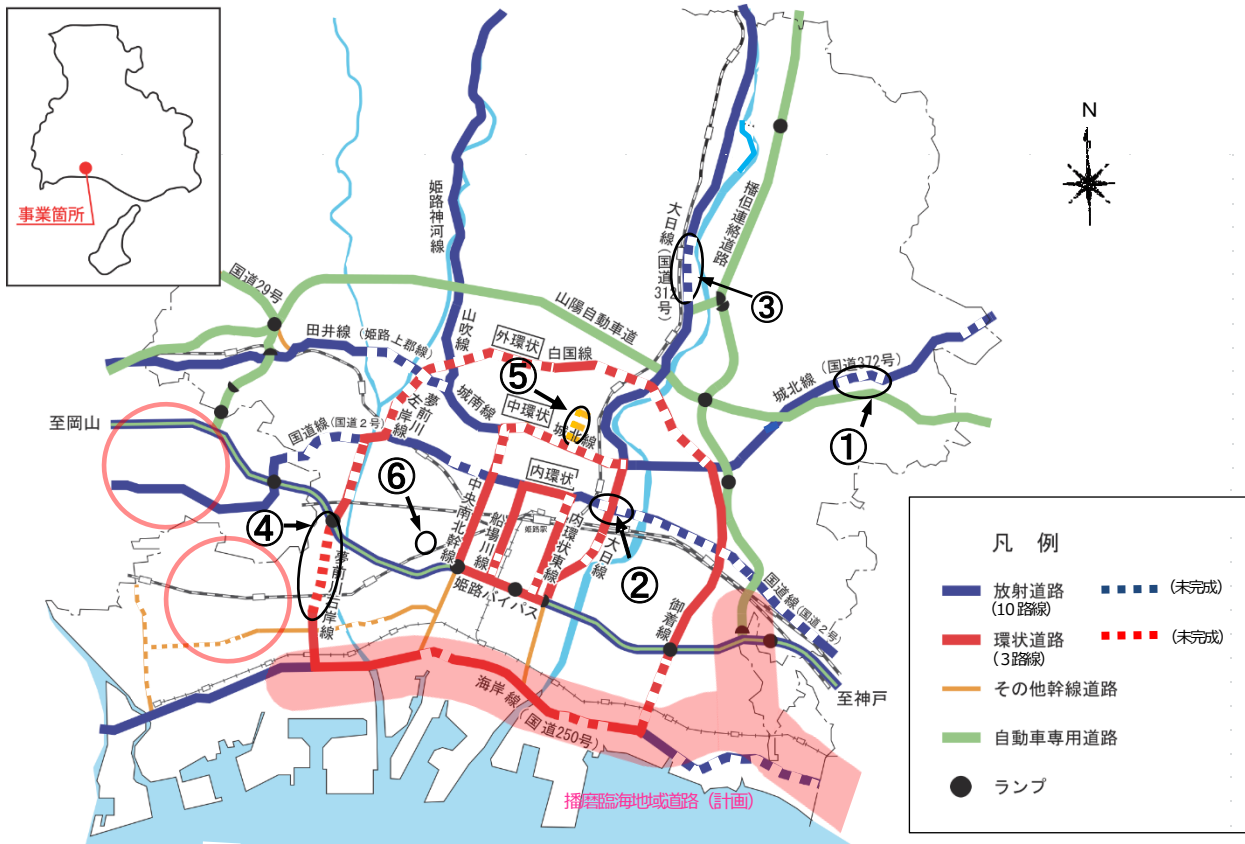
路線名	延長	種別	位置
(一)広畑青山線[夢前川右岸線] (姫路市広畑区才～西蒲田)※	2.3km	2001(H13)～ 25(R7)	図-④

※ 俺天下山トンネル(L=251m):H27.9未完成

《その他都市軸を形成する道路》

路線名	延長	種別	位置
(都)城東線[河間工区](姫路市河間町)	0.47km	2015(H27)～ 24(R6)	図-⑤
(都)荒川線[井ノ口工区](姫路市井ノ口)	0.16km	2017(H29)～ 23(R5)	図-⑥

【位置図】



【3環状10放射道路構想図】

(3) 姫路駅周辺道路等の整備推進

駅周辺の施設整備に合わせ、道路等の整備を推進する。

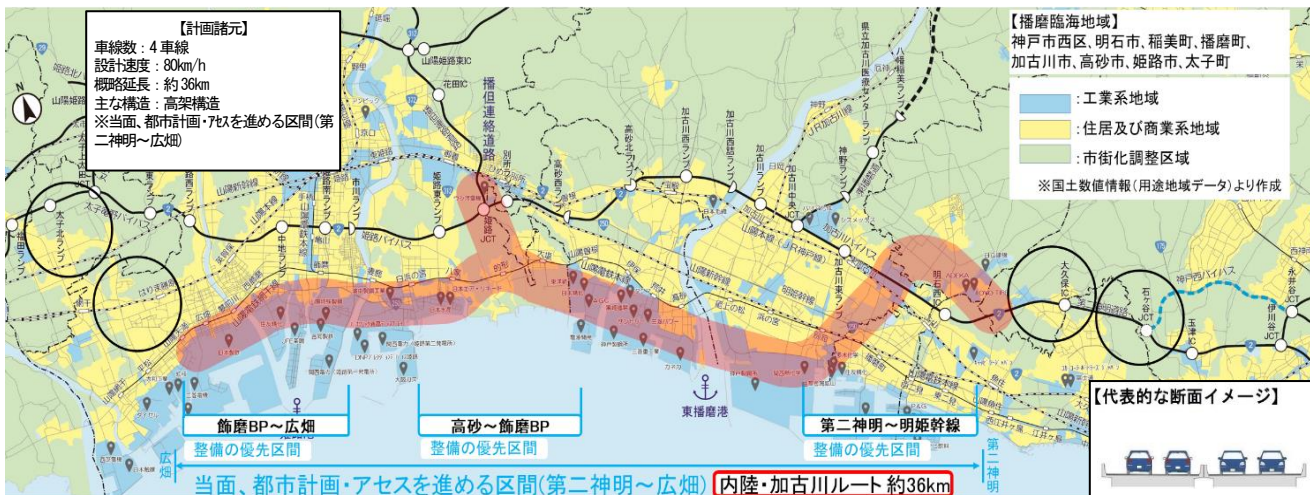
- ① (都)国道線〔姫路東工区〕(姫路市東郷町～神屋町) L=0.96km〔2014(H26)～25(R7)〕について、西側より用地買収を推進するとともに、一部工事に着手する。
- ② 国道312号姫路天神前交差点について、北行き1車線を2車線に拡幅する交差点改良を推進する。
- ③ 姫路市施行の南北道路(内環状東線、大日線)の物件移転及び工事の促進を図る。

(4) 播磨臨海地域道路の整備促進

「第二神明～広畑」の区間について、対応方針として「内陸・加古川ルート(約36km)」が選定され、計画段階評価手続が完了した。令和3年7月27日から8月26日に、環境影響評価方法書の縦覧と住民説明会を実施した。令和4年11月28日に、国から都市計画決定権者である県・神戸市へ、今後の都市計画手続の参考となるルート計画案が手交された。

県としては、早期事業化に向け沿線市町とともに、都市計画・環境影響評価手続を進めるとともに、早期完成に向け、有料道路事業の導入検討などについても、引き続き国へ要望していく。

【播磨臨海地域道路ルート案】



(5) JR姫新線・播但線鉄道交通活性化推進事業 1,300千円(地域躍動)

県と各沿線市町等が連携し、沿線イベントの開催や観光パンフレット及び啓発資材の作成、駅舎・車内の魅力向上を図ることで、乗車人員増や利便性向上へ向け取組を行う。

Ⅱ 新たな力が生まれ続ける「活力」中播磨

1 公民連携で取り組む中播磨地域の活性化

行政課題の複雑化・高度化が進み、行政のみでの課題解決を図ることは困難となり、公民連携の重要性が高まっている中、中播磨地域の団体・企業等と連携し、そのノウハウやネットワーク等を活かしながら、公民連携で中播磨地域の活性化、課題解決に取り組む。

(1) 【新規】新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携事業 1,500千円(地域躍動)

社会課題の解決に向け、自動運転、ドローン、燃料電池など新技術等の実証実験や調査等を公民連携で実施する。

① 社会課題解決のための実証実験、調査

(例：自動運転ロボを活用した配送、観光など)

② 実証実験、調査結果の発表

「播磨圏域ものづくりプラットフォーム」と連携し、①の実証実験の成果の共有と、新たな課題抽出などを目的とした成果発表会を開催する。

(2) 【新規】中はりま産業SDGs PR事業 100千円(地域躍動)

中播磨の企業のSDGsへの取組を広く周知するため、姫路青年会議所と連携し、日本青年会議所近畿地区大会と同時開催される姫路JCフェスタにおいて、中播磨の企業が有するSDGsに関連する技術等を紹介する。

2 ものづくり力の強化と新たな挑戦への支援

産学官の連携による技術交流の促進により、地域のものづくり力の一層の強化を図るとともに、ものづくりを支える人材を確保するため、企業と学生のマッチングを図る機会を充実させる。

また、若者のアントレプレナーシップ（起業家精神）を醸成するための取組など、新たな挑戦への支援を行い、地域の新たな活力の創出を図る。

(1) 中はりま高校生等のための起業セミナー 1,200千円（地域躍動）

若者のアントレプレナーシップを醸成し、地域の起業・創業の活性化を図るため、地域の高校生等を対象に、先輩起業家との座談会やビジネスプラン作成のためのワークショップなどを開催する。



(2) 産学官連携による「中はりま産業力」強化 1,200千円（地域躍動） 【セミナーの様子】

中播磨地域の産学官が連携し、技術交流の促進や雇用機会の創出を支援することにより、地域のものづくり力のより一層の強化を図る。

① 企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2023

地元企業の製品・技術や、大学の研究等の展示を行うことにより、学生に地元企業の製品・技術をPRするとともに、学生に出展企業の製品・技術情報や、企業との意見交換の機会を提供し、地元企業への関心を高めてもらうため、「企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2023」を開催する。

② 大学研究施設見学ツアー（オープンラボ）の実施

産学連携を促進するため、企業関係者等を対象に、大学の研究施設見学ツアーを実施し、研究内容や研究装置等を紹介する。

③ ものづくり力向上セミナー

地域のものづくり力の向上を図るため、中小企業の技術者等を対象に、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進に必要なAI技術等を学ぶセミナーを開催する。

(3) ものづくりを支える人材確保支援 610千円（地域躍動）

若者の地域定着を促進し、ものづくり企業等の人材確保を支援するため、地元高校生を対象とした企業紹介セミナーや、高等学校進路指導担当者と企業との交流会を開催する。

(4) 中はりまの企業PR大作戦（UJIターン対策）（p.12再掲）

(5) 【新規】新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携事業（p.16再掲）

(6) 【新規】中はりま産業SDGs PR事業（p.16再掲）

(7) カーボンニュートラルレポートの形成（p.11再掲）

3 多様な働き方の推進

ライフスタイルやライフステージに応じた多様な働き方を推進することで、誰もが自分に合った働き方を選択でき、その能力を活かして活躍できる地域の実現を図る。

(1) 女性活躍促進企業セミナー 400千円（地域躍動）

企業での女性活躍の促進を図るため、企業経営者、人事担当者等を対象として、女性の管理職への登用促進に必要な環境づくりや、女性の雇用に積極的な企業、女性管理職が活躍する企業などの事例を学ぶセミナーを開催する。

(2) 中はりま農的暮らし定着支援事業 360千円（地域躍動）

新型コロナウイルス感染症の拡大により、多自然地域での暮らしの良さが見直される中、若い世代等が農村に住み、農業+αの仕事で暮らし、子育てもしながら、地域に定着することを持続可能な農業として、CSA*の取組や「農泊」（農村地域において泊まる、味わう、楽しむ、買う）の推進等を通じてモデル的に支援することで、過疎・高齢化や耕作放棄地の拡大が懸念される地域の活性化に結びつける。

※CSA：「Community Supported Agriculture」の略称。「地域支援型農業」と呼ばれており、消費者が生産者に代金を前払いして、定期的に作物を受け取る契約を結ぶ農業。

(3) 【拡充】授産品の販路拡大による障害者の社会参加促進 900千円（地域躍動）

障害福祉サービス事業所で生産する授産品のコンクール「中播磨“はばたけ授産品コンクール2023”」を開催し、優秀作品を選定するとともに、選定された授産品を中心に県主催イベント等で配付する。

また、管内事業所参加のもと、過去の受賞事業所によるコンクール後の取組成果の発表会を新たに開催し、販売促進や商品開発の経験の共有を図る。

中播磨“はばたけ授産品コンクール2022” 金賞受賞作品



【食品部門 「SHIRO NO MADO」】



【手工芸品部門 「ぶち笑もん」】

4 持続可能な農林水産業の推進

中播磨地域における新規就農者サポートや生産力の強化を図る事業を展開するとともに、農地の面的集積とほ場の大区画化を一体的に進めるほ場整備を推進し、農業水利施設の機能が適正かつ持続的に発揮されるよう点検整備や補修に取り組むほか、防災対策として老朽化したため池等を改修する。

(1) 【拡充】中はりま農業パワーアップ作戦 4,200千円（地域躍動）

中播磨の大消費地近郊という特色を活かした農畜産物の生産振興、販路の拡大を行い、中播磨農業のパワーアップを図る。また、担い手の確保のため、新規就農者の確保・育成、集落営農組織等の経営安定に向けた取り組みを推進し、活力ある中播磨農業の展開をめざす。

① （新規）緑肥作物等を利用した土づくり

国内で使用されている化学肥料は、その原料のほとんどを中国等からの輸入に依存しており、その他生産コストの増加と相まって、農業の継続性が懸念されている。

このことから、有機資源を活用した生産を確立するため、緑肥作物を利用した土づくりの実証試験等に取り組み、持続可能な農業の実現を目指す。

② 新規就農者・雇用就農者の確保と若手生産者の早期経営安定

新規就農希望者を積極的に募るために、「就農現地見学会（農園見学ツアー）」や「就農希望者セミナー」を開催し、人材確保に繋げる。併せて、新規就農者等の生産基盤の整備を促進し、経営の早期安定を図る。

③ スマート農業の推進

農業の一層の省力化及び品質確保を図るため、スマート農機を活用した水稻・小麦の生産技術実証を行うとともに、導入コストの低減を図るため、ICT機器のシェアリング利用に取り組む生産者を支援する。

④ 機能性の高い新品種を活用したもち麦産地の供給力アップ

機能性成分である水溶性食物繊維を多く含んでいる、福崎町特産のもち麦新品種「フクミファイバー」の需要が拡大しつつあり、福崎町を中心に認知度向上と一層の販路拡大を図るためのPRを行っている。今後の一層の生産拡大を図るため、新規生産者の掘り起こしや栽培技術指導、資機材の導入等を図り、年間を通じた供給体制の整備を進める。



【もち麦新品種「フクミファイバー」採種ほ場の設置】



【ドローンを活用した小麦の追肥作業】

(2) 農業生産基盤の整備

農業の競争力強化に向け、未整備地域のほ場整備を推進するとともに、ほ場整備済の地域では、農作業の効率化のための大区画化・用水路のパイプライン化等を進める。

また、頻発するゲリラ豪雨や南海トラフ等の大規模地震に備え、ため池等農業水利施設の防災・減災対策を推進する。

① ほ場整備【県営】 7地区

事業名	地区名	所在地
経営体育成基盤整備事業	あまじ区	神崎郡市川町甘地
	犬飼田野	姫路市香寺町犬飼、田野
	高岡福田	神崎郡福崎町高岡、福田
	須加院	姫路市香寺町須加院
	屋形	神崎郡市川町屋形
	宮置	姫路市夢前町宮置
	太市西部	姫路市西脇・揖保郡太子町広坂

② ため池の改修【県営】 13地区

事業名	地区名	所在地
ため池整備事業	太尾奥池・中池	姫路市豊富町太尾
	上杉池・下杉池	姫路市御立
	三谷池	神崎郡福崎町高岡
	峠池	姫路市飾東町志吹
	竹太郎上池	姫路市林田町下伊勢
	多谷池	神崎郡市川町小畑
	五郎田池	神崎郡市川町下牛尾
	相合池	姫路市飾東町佐良和
	別所横池	姫路市別所町北宿
	大谷池	姫路市飾東町塩崎
	古法華池	加西市北条町法華
	室谷上池・下池	神崎郡市川町東川辺
	直谷池	神崎郡福崎町山崎

③ 井堰の改修【県営】 3地区

事業名	地区名	所在地
	書写	姫路市書写
	権現	神崎郡福崎町八千種
基幹水利施設ストックマネジメント事業	甲山頭首工	姫路市豊富町

(3) 水産資源を守り育てる増殖場の整備

砂泥底が広がり漁場条件に恵まれていない播磨灘中・西部海域において、地元産石材を用いた大規模な人工増殖場を造成し、メバルやカサゴなど有用水産生物の発生及び生育に適した環境を整備することで、水産資源の維持・増大と漁業生産の安定化を図る。

事業名	地区名	造成海域	実施内容
増殖場造成	播磨灘中西部 加島南地区	男鹿島南加島地先海域	石材礁1基造成

Ⅲ ステキなご近所さんで支え合う「つながり」中播磨

1 健康で安心できる暮らしづくりの推進

誰もが安心して医療を受けられ、住み慣れた地域で健康に暮らせるよう、子どもから高齢者まで地域ぐるみで支え合う環境づくりを推進する。

(1) 小児救急医療・適切な受診行動の促進 470千円（地域躍動）

中播磨圏域の一次救急を担う姫路市休日・夜間急病センターの利用者の約45%を小児科が占めている。夜間休日の小児救急を担う小児科医師数の減少と高齢化等により、診療体制の維持が課題となっており、小児救急医療検討会を開催するほか、病状に応じた適切な受診行動を促すとともに、コンビニ受診抑制のための啓発媒体を作成・配布し、小児救急医療体制の維持を図る。

(2) 地域包括ケアシステムの構築支援

神崎郡在宅医療・介護連携支援センターと連携して、3町が主体的に取組を進められるよう、圏域の地域包括ケア推進会議の開催や、市町や医療関係団体等との連携調整等を行うことにより、郡内・圏域全体を見渡した広域連携システムの構築を支援する。

(3) 地域を支える看護人材の確保

地域医療を支える看護人材の確保を図るため、兵庫県看護協会、民間病院協会等と連携して、中・西播磨管内の病院がそれぞれの魅力を伝えるとともに、ハローワーク等の協力のもと潜在看護師のための相談等を行う「看護職合同就職説明会」の開催を支援する。

(4) 災害時における医療提供に関する情報伝達訓練・研修事業 300千円（地域躍動）

近年の地震、台風、豪雨等災害の多発により医療機関の迅速な受け入れ体制の確保が急務となっている。地域保健医療情報センター（圏域健康福祉事務所）として、災害医療に携わる関係機関・団体により、災害医療の基礎及び災害発生時の医療機関の患者受け入れ等に関する情報伝達方法について、知識や技術の習得を図るための訓練及び研修を実施し、実際に災害発生時に迅速かつ適切な対応が行える体制を構築する。

2 人と人がつながり支え合う地域づくりの推進

地域の課題解決に向けた地域団体等の活動支援による地域住民同士のつながりの創出・強化や、誰もが担い手として活躍できる地域を目指す取組を推進する。

(1) 【拡充】中播磨地域づくり活動応援事業 8,800千円（地域躍動）

地域団体が他団体と協働して実施する地域の課題解決につながる取組や団体自らの活性化のために行う取組（県民提案型協働事業）を支援することにより、地域の元気づくりを図る。

（一般枠）

地域の課題解決・活性化のための事業や中播磨地域の伝統文化や郷土史、食文化などの「地域の文化」を発信する取組やイベント等で、中播磨地域の魅力を次代に伝える事業を支援する。

（特別枠）

① カーボンニュートラル推進事業

地域団体等が実施するカーボンニュートラルに関する取組等に対して支援を行い、人と自然が共生する豊かな地域づくりを図る。

② 子育て応援事業

地域団体等が実施する子育て支援に関する取組等に対して支援を行い、地域ぐるみの子育て支援を展開する。

③ 「銀の馬車道」魅力UP事業

日本遺産に認定された「銀の馬車道」を題材に、地域団体等が実施する取組や地域の活性化につながるイベント等に対して支援を行い、地域の元気づくりを図る。

④ （新規）DC・万博推進事業（P.10再掲）

(2) 中播磨フードドライブの実施

食品ロスの削減を図る手段として、家庭で余っている食品等をごみにせず、必要とする生活困窮者や福祉団体等にフードバンク団体を通じて寄附するフードドライブ事業を実施する。

(3) 地域づくり研修会の開催 80千円（地域躍動）

地域のリーダーであり、地域づくりの中核的な役割を担っている自治会長から、県事業に対して協力を得るため、自治会長が県事業の必要性や遂行にあたって生じる問題点について認識を深める機会として、研修会を開催する。

(4) 離島地域における県立高等学校跡地活用の検討

離島地域の特性を考慮し、県立高校再編に伴う対象校の跡地活用について、在校生への心情への配慮を最優先にしつつ、地元市等と連携して検討を進める。

IV 次代に受け継ぐ「ふるさと」中播磨

1 安全安心な暮らしの推進

治水・地震・高潮・土砂災害対策等による災害に強い社会基盤整備や、地域防災力の向上を推進するとともに、日常に潜む犯罪・交通事故・消費者被害等への対策を講じることで、安全安心な暮らしの実現を図る。

(1) 災害に強い社会基盤整備の推進

自然災害に対する安全・安心を確保するため、治水対策、地震対策、高潮対策及び土砂災害対策を進める。

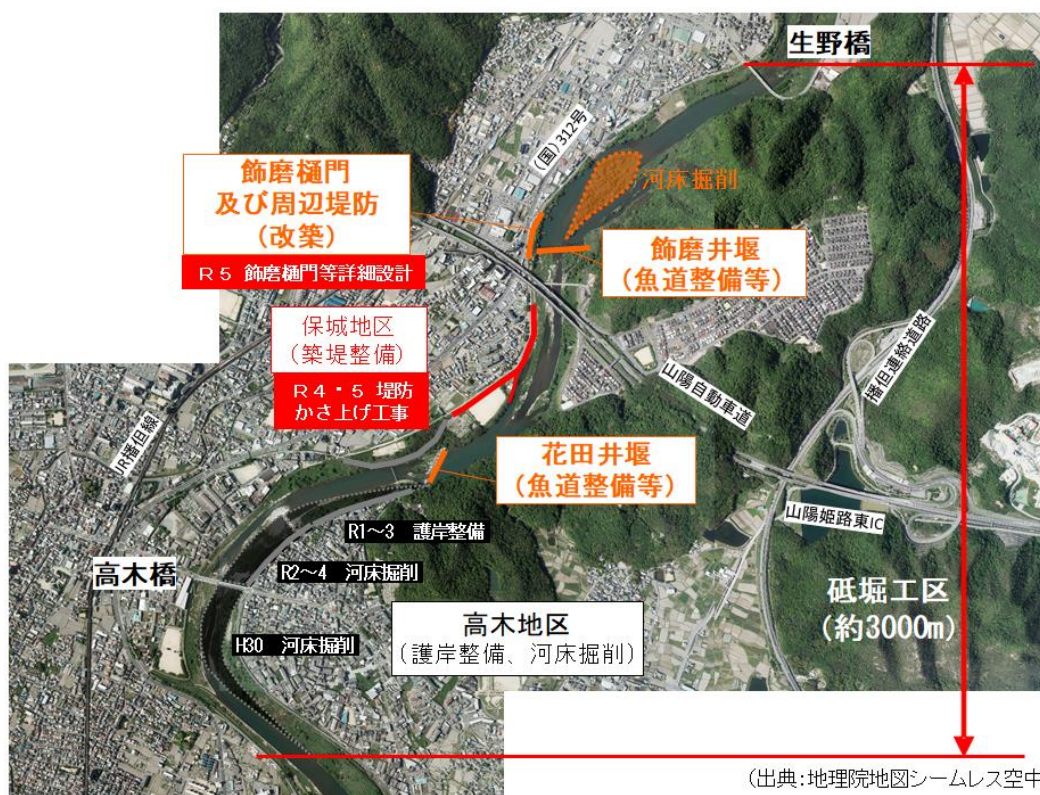
① 治水対策の推進

ア 市川の河川改修

砥堀工区の河道改修計画※に基づき、平成30年3月から河床掘削工事に着手。引き続き、河床掘削工事及び堤防かさ上げ工事等を進める。

※ 学識経験者等からなる検討委員会を組織（H28.12）し、当工区に江戸時代から受け継がれる治水・利水の技術を取り入れた計画を検討し、H30.2 河道改修計画策定

令和5年度は、保城地区堤防かさ上げ工事及び飾磨樋門等詳細設計に着手予定。

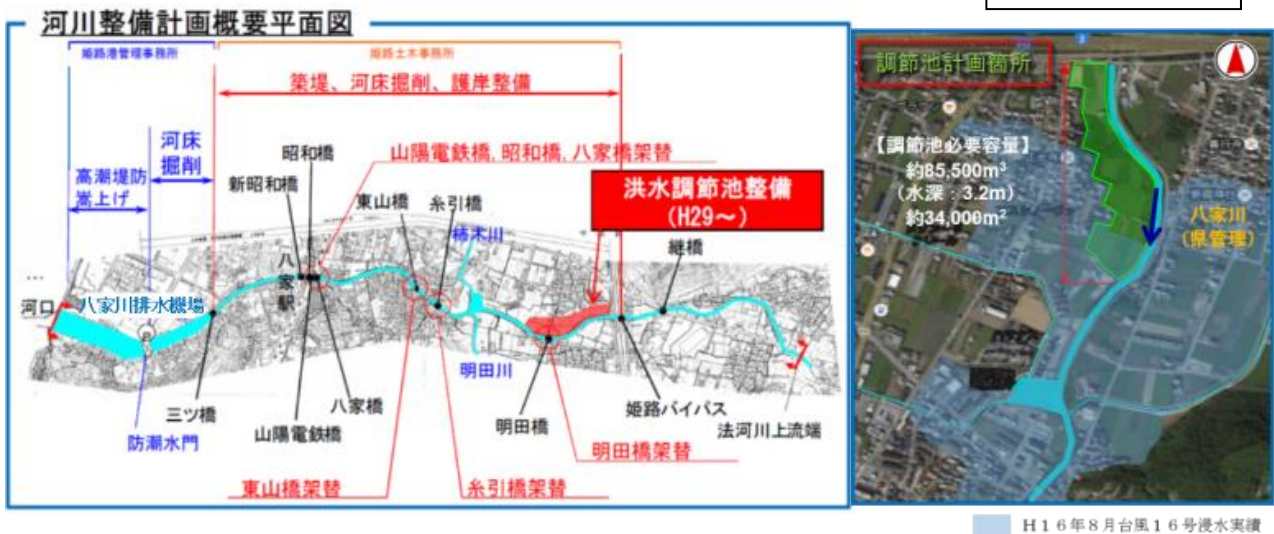


イ 八家川の洪水調節池整備

流域の浸水被害を早期かつ広範囲に軽減するため、高潮対策（八家川排水機場（H29.5完）、防潮水門（H26.9完）及び高潮堤防嵩上げ（H28完））に加え、中上流部（姫路バイパス下流）において洪水調節池の整備を進める。

令和5年度は、遮水矢板設置及び矢板背面の地盤改良工事等を実施。

計画平面図



ウ 総合治水の推進

「中播磨（市川流域圏）地域総合治水推進計画」に基づき、従来からの「河川下水道対策」に加え、河川等への雨水流出を抑制する「流域対策」、浸水時の被害を軽減する「減災対策」を組み合わせた「総合治水」を県・市町・県民の連携のもと推進する。

- ・雨水浸透側溝整備（広畑青山線）〔2017(H29)～25(R7)〕
- ・ため池治水活用拡大促進事業〔2018(H30)～24(R6)〕

エ 河川の事前防災対策の推進

平成30年7月豪雨や令和元年東日本台風など、豪雨が激甚化・頻発化しているため、「河川対策アクションプログラム」〔2020(R2)～28(R10)〕に基づき、河川の事前防災対策を重点的に推進する。

② 地震対策の推進

「ひょうご道路防災推進10箇年計画」〔2019(H31)～28(R10)〕に基づき、緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強等を進める。

- ・橋梁の耐震補強：国道250号 思案橋 等

③ 高潮対策の推進

大阪湾沿岸で既往最大潮位を記録した平成30年の台風第21号の教訓を踏まえ、全県下の県管理海岸・河川を対象に策定した「兵庫県高潮対策10カ年計画」〔2019(R元)～28(R10)〕に基づき、防潮堤の嵩上げなどを推進する。

- ・主な整備箇所 姫路港大津吉美地区、浜田地区

④ 土砂災害対策の推進

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」〔2021(R3)～25(R7)〕にあわせて策定した、「第4次 山地防災・土砂災害対策計画」〔2021(R3)～25(R7)〕に基づき、土砂災害対策を推進することにより、県土の強靱化を加速化し、県民の生命と財産を守る。

ア 土砂災害対策の推進

土石流対策及び急傾斜地崩壊対策を実施する。

<p>土石流対策 32箇所</p>	<p>【事業継続箇所】 古瀬畑川、下瀬加西山谷川、三谷川、東尾友東川、東尾友西川、足尾谷川、奥谷川中谷川、高畑川、山崎川、吹上谷川、高朝田川左支溪、クズリ谷川下谷、山田下谷川、白山川、湊谷川、菅生川、イガン谷川、川上左谷川、奥猪篠川第六右支溪、西山川、大山上谷川、春日神社谷川、午房谷川、奥猪篠川第七右支溪、谷山川北谷</p> <p>【R5新規事業箇所】 西蒲田川、緑兵右谷川、当田川左支溪、平石川、居屋谷川、中島川、五社北谷川</p>
<p>急傾斜地崩壊対策 13箇所</p>	<p>【事業継続箇所】 白鳥台（7）、才（2）、鍛冶（3）、畑の原、中須加院、糸田（2）、戸谷（1）、みどり丘（1）、岡町</p> <p>【R5新規事業箇所】 馬谷、白浜（3）、大河（1）、大河（2）</p>

イ 流木・土砂流出防止対策

風倒木跡地などの荒廃林地からの流木・土砂対策を実施する。

- ・治山ダム：神河町ほか4箇所を整備を推進

ウ 災害に強い森づくり（県民緑税事業）の推進

令和3年度から5年間延長された県民緑税（第4期対策）を活用し、「緊急防災林整備」、「里山防災林整備」、「針葉樹林と広葉樹林の混交整備」、「野生動物共生林整備」、「住民参画型森林整備」などに取り組むことにより、森林の防災面での機能強化を早期・確実に進める。

(2) 老朽化対策の推進

「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画」〔2019(H31)～28(R10)〕に基づき、計画的・効率的に社会基盤施設の老朽化対策を推進する。

- ・道 路：岡田陸橋（一）和久今宿線（姫路市中地） 2020(R2)～24(R6)
- ・河 川：市川潮止堰 2010(H22)～28(R10)
- ・海 岸：大江島排水機場 2020(R2)～28(R10)
- ・港 湾：姫路港須加地区物揚場（L=163m） 2018(H30)～25(R7)
- ・下水道：機械・電気設備（揖保川浄化センター、兵庫西流域下水汚泥広域処理場）

(3) 「ひょうご安全の日」中播磨地域のつどいの開催 190千円（地域躍動）

「ひょうご安全の日（1月17日）」の付近に、震災の経験や教訓の発信、災害への備えについての啓発等を行う等、地域における防災力、防災意識の向上を図るための「ひょうご安全の日」中播磨地域のつどいを開催するとともに、地域防災の担い手である「ひょうご防災リーダー」の継続的な活動を支援するため、「フォローアップ研修」を実施する。

(4) 「ストップ・ザ・交通事故！県民運動」啓発活動強化事業 180千円（地域躍動）

交通安全協会等と連携し街頭啓発を行うなど、地域で高齢者を守る意識の醸成や、高齢者の交通安全意識の高揚を図ることにより、交通死亡事故減少をめざす。

また、「自転車の適正な利用の促進に関する条例」の啓発強化や、関係団体等と協働して広報啓発を行う。

(5) 次世代（若者）の消費生活力向上支援事業

消費生活トラブルの未然防止・拡大防止を図るとともに消費者が消費生活に関する知識を持ち、適切な行動がとれる実践的な能力を身につけるための消費者学習を推進する。

また、2022（R4）年度より成年年齢が18歳に引き下げられたことから、若年層への消費者教育の強化を図る。

2 シビックプライドの醸成

地域の営みや地域資源を磨き上げ、その魅力を発信するとともに、地域文化や郷土史等を次代に伝える事業を実施・支援することで、子どもや若者が地域に対する愛情・誇りを感じ、住み続けたいと感じられる地域づくりを推進する。

(1) 小学生への社会基盤整備PR事業

社会基盤施設への興味や整備の理解を促進するため、小学生を対象にイベントを実施し、将来の土木技術者を目指す人材の発掘と育成を目指すほか、社会基盤整備の魅力を伝えるとともに公共事業への理解促進、防災への意識付けを行う。

① 夏休みを利用して「川・道・港・まち」をテーマとした絵画を募集し、入賞作品を披露するほか、作品を掲載した下敷き等を作成し啓発を行う。

② 「兵庫県庁SDGs WEEK」や「土木の日（11月18日）」を機に、管内の社会基盤施設の役割や必要性を伝えるとともに、近年頻発する災害に備えて、平常時から訓練をしたりハザードマップを確認したりすることの重要性を伝えるなど、防災に対する意識を高める。



【作品を掲載した下敷き】

(2) 中播磨地域ビジョンの推進 500千円（地域躍動）

2050年を展望する中播磨地域の目指す姿を描いた「中播磨地域ビジョン2050」の実現に向け、県民・団体・企業など多様な主体の参画による地域ビジョンプロジェクトが展開されるよう、フォーラムを開催するなど中播磨地域ビジョンの普及啓発を行う。



【県立香寺高校美術工芸部作成イメージイラスト】

(3) 未来へつなぐ中はりまの農業水利の歴史事業 950千円（地域躍動）

中播磨の農業水利施設（水路〔疏水〕・ため池・井堰など）は、先人達の努力や苦勞によって建設され、地域の人々に受け継がれながら現在も農業生産を支える大きな役割を果たしており、歴史・文化的・技術的価値の高いものが数多く存在する。

このような貴重な施設を後世へ継承するため、農業生産のみならず、洪水抑制等の防災機能や多様な生物相の形成など多面的な役割を再認識するための啓発活動を支援することにより、子どもたちに先人たちの工夫や努力が息づくふるさとへの理解を促進する。

(4) 青少年の健全育成活動の推進

中播磨青少年本部自主事業等の展開により、青少年を取り巻く良好な環境づくりやふるさと意識の醸成を推進し、青少年の健全な育成を図る。

(5) 伝統文化を通じた青少年の文化力アップ 2,200千円（地域躍動）

姫路・中播磨地域の青少年等を対象に日本の伝統文化の継承・普及・発展に寄与する事業を展開し、伝統文化を通して地域の若者のふるさと意識の醸成を図る。

① 伝統文化研修事業の実施

ア 「青少年伝統文化セミナー」の開催など青少年の文化力アップ

イ 「留学支援講座」「和のゲストハウス事業」の実施など国際交流と異文化理解

ウ 「伝統文化リーダー・スタッフ養成」事業など文化発信と人材育成

② 縣市連携事業の実施

姫路城周辺施設での歌舞伎舞踊定期イベント等の実施

3 次代へつなぐ豊かな自然の維持・保全とゼロカーボン社会の実現

物多様性の確保や森林・農地の持つ多面的機能の維持・保全など人と自然の共生を図るとともにゼロカーボン社会の実現に向けた取組を推進することで、中播磨の豊かな自然環境を次の世代へ受け継ぐ。また、次代を担う子どもたちに環境の大切さを伝える環境学習を推進する。

(1) 人と野生動物が共生できる地域創出事業

有害鳥獣の捕獲を担う狩猟者の高齢化が進んでいることから、将来にわたり被害対策を担う人材の確保・育成に取り組む。また、狩猟マナーの向上を目指し、正しい知識と技術を持った狩猟者の育成を進めるとともに、高校生など若い世代を対象として「狩猟」を知り、理解を深めてもらう場を提供する。

① ワナ猟経験が少ない、若しくは未経験者のうち、本格的にワナ猟による捕獲を続けていく意欲のある方に対し、シカやイノシシを中心とする捕獲技術等の指導を実施する。

② 鳥獣被害対策の担い手の確保・育成を図るため、狩猟免許取得後の狩猟未経験者を対象に狩猟体験会等を開催する。

③ 地元高校生等を対象にした狩猟講座（座学・捕獲模擬体験等）の開催を支援する。

(2) 野生動物の被害対策の推進

野生動物による農林業被害が深刻化・広域化しているため、捕獲による個体数管理、防護柵設置、さらには人と野生動物の棲み分けゾーンの設置などの取組を進める。

① シカ、イノシシ対策

ア 防護柵の設置の推進【設置計画：15, 150m】

イ 県の個体数管理計画に基づく捕獲の推進【捕獲目標：3, 000頭】

ウ シカ肉処理加工施設等でのペットフード等への加工による有効活用

② サル対策

ア 県のニホンザル管理計画に基づく加害個体の捕獲強化

イ 群れ行動を監視し、被害の防止につなげるサル監視員の設置

③ その他

ア 特定外来生物対策（アライグマ、ヌートリア）

市町防除実施計画に基づく、箱わなの貸し出し等による捕獲の推進

イ 野生動物共生林の整備

「人と野生動物の棲み分けゾーン」を設置する野生動物共生林の整備の推進

【基本計画調査予定（1箇所）及び整備造成（2箇所）：3箇所】

(3) 持続可能な森林経営に向けた森づくり

成熟した人工林資源の有効活用による持続可能な森林経営の実現に向け、林内路網の整備や高性能林業機械の導入など林業生産基盤の整備を進めるとともに、適期の間伐など適切な森林の整備を推進する。

(4) 環境学習の推進 340千円（地域躍動）

「青少年向けの体験型環境学習事業」を開催するとともに、幅広い年齢層を対象に地域団体等が開催する「環境学習セミナー」へ講師を派遣することで、環境に対する関心を高め、環境を大切にする心を育む。

(5) カーボンニュートラルレポートの形成（p. 11再掲）

(6) 中播磨フードドライブの実施（p. 22再掲）